

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 135

タマムシ

分類 コウチュウ目 タマムシ科

大きさ：25～40mm

住んでいる環境

- ・平地から山地の日当たりの良い場所

小鳥の森で見られる時期

- ・6月～8月

小鳥の森で見られる場所

- ・エノキやサクラの木、伐採木付近など



せいなさん(5才)が描いてくれました。

7・8月

いきもの森予報

セミの大合唱

青空に高く白い雲が映える7月。30℃を超える真夏日が続く時期です。梅雨が明けると、いよいよ夏本番。園内はたくさんの生き物たちが勢いを増して活動します。その代表と言えばセミではないでしょうか。6月下旬から10月中旬までの間、姿や大合唱で夏の風情を感じさせてくれます。小鳥の森では7種類のセミが観察できますが、今回はその中から2種類をご紹介します。

6月下旬、最初に登場するのはニイニイゼミ。このセミの抜け殻の表面には泥がついており、乾燥すると白く見えます。大きさは33mm～38mmの小型のセミで、「チーーーーー」と長く、最後に少し上げ調子に鳴きます。8月下旬にはその一生を終えます。

7月の下旬になると、アブラゼミが「ジジジッ、ジリリリリ」と辺り一面でうるさいほどに鳴き始めます。53mm～58mmの大きな体で、揚げ物をする音に似た鳴き方をするためこの名前が付きました。9月の下旬まで暑い夏を演出してくれます。

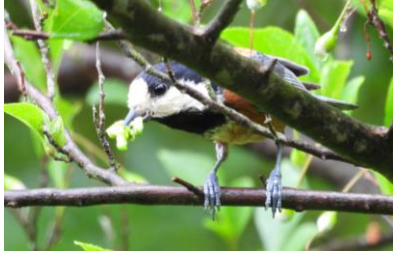
皆さんは今年の夏、何種類のセミと出会うでしょう。



ニイニイゼミ



アブラゼミ



エサを持つヤマガラの親



巣立ったヒナ

ヤマガラの巣立ち成功

雨が降り、夏の始まりを感じるような蒸し暑い日が多かった6月の小鳥の森でした。

例年より2ヶ月ほど遅いスタートでしたが、ネイチャーセンターの外の壁に取り付けてある巣箱で、ヤマガラが子育てをしました。遅れを取り戻そうとしていたのか、今年ヤマガラは巣材を運んでいる途中から卵を産み、温めも始めました。合計6個の卵から6羽のヒナが誕生。雨の日も暑い日も親鳥がせっせとエサを運んだおかげか、すくすくと大きくなり、あっという間に親鳥と変わらないほどの姿になりました。産毛で丸い体に愛らしい目。来園者の皆さまは心を射抜かれていた様子でした。

誕生から18日後の6月15日。残念ながら1羽は育ちませんが、5羽が巣立ちを迎えました。巣の中をうろうろしていた最後の1羽が、やっと決心をして飛び立っていった瞬間は、見ている私たちも成功の嬉しさでいっぱいになりました。これから森の中で大人になっていくのが楽しみです。

スタッフだよ!

雨の日のネバキラ跡

梅雨。空から水滴が。まず木の葉に落ち、次は切り株、虫の上? 数えきれない雫が地面に届かまでするんな場所に当たります。重なりあってザーザー雨音。リラックスし集中力もアップする良い季節です。

雨の好きな生き物と言えばカタツムリ? いえ、今回はナメクジについて少しだけご紹介。

カタツムリとナメクジはどちらも陸に棲む巻貝の仲間。夜にジメジメした場所を動きます。違いは殻の有無。カタツムリの殻を長い年月をかけて無くした生き物がナメクジです。むき出しのナメクジの体は、殻に身を隠せるカタツムリより乾燥に弱く、敵の攻撃にも無防備。しかし、すっきりした体は狭い隙間にまで入り込めます。身軽でカタツムリより(ちょっと)速い。殻を作る栄養が必要なく、食べたものは体を大きくすることに使えます。なんだか素敵!

殻を無くすこと(退化)でバージョンアップ(進化)したナメクジ。今までとは違って見えませんか?

(スタッフ くろさわ さちこ)

お知らせ

アメリカザリガニ「さよなら作戦」

今年の夏も「ザリガニ釣り」を来園の皆さまに体験していただけます。釣りを通して外来種であるアメリカザリガニを駆除することを目的としています。

元からいた水辺の生き物が棲める環境に戻すための「作戦」として楽しくご参加いただけたらと思います。



日時：7月1日(土)～8月31日(木)

対象：どなたでも

参加費：無料

準備物：餌(スルメなど)

申込方法：来園した際にスタッフにお声がけください。

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel:024-531-8411 fax:024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2023年7・8月合併号№446/企画・発行：福島市小鳥の森/NPO法人野鳥の会ふくしま

